

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月12日

上場会社名 株式会社ガイアックス 上場取引所 名
コード番号 3775 URL https://www.gaiax.co.jp
代表者(役職名) 代表執行役社長(氏名) 上田 祐司
問合せ先責任者(役職名) 執行役(氏名) 野澤 直人 TEL 03-5759-0300
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	2,563	35.1	426	—	446	—	451	224.5
2023年12月期第3四半期	1,897	△2.0	0	—	12	—	139	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 407百万円(168.2%) 2023年12月期第3四半期 152百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年12月期第3四半期	88.49	—	—	—
2023年12月期第3四半期	27.27	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	2,356	—	1,449	61.2	—	—
2023年12月期	2,008	—	1,331	65.5	—	—

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 1,442百万円 2023年12月期 1,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00	—
2024年12月期	—	50.00	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	5.00	55.00	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2024年12月期第2四半期末配当金の内訳 特別配当50円00銭

(注3) 2024年12月期第2四半期の配当原資には、資本剰余金が含まれております。詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,300	21.4	300	120.7	320	110.5	320	14.5	62.71	—

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) Micolo株式会社、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期3Q	5,337,452株	2023年12月期	5,337,452株
2024年12月期3Q	234,694株	2023年12月期	234,694株
2024年12月期3Q	5,102,758株	2023年12月期3Q	5,102,758株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3) 連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2024年12月期第2四半期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	第2四半期末
1株当たり配当金	50円00銭
配当金総額	255百万円

(注) 純資産減少割合 0.124

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（四半期連結損益計算書）	6
（四半期連結包括利益計算書）	7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等の注記）	8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、雇用・所得環境が改善し、緩やかな景気持ち直しの動きが継続しました。引き続き景気回復が期待される一方、原材料の高騰や為替の影響による物価上昇のほか、国際的な情勢不安により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、「スタートアップ育成5か年計画」による当社の起業支援「スタートアップスタジオ」の取り組みへの強い追い風が継続しております。web3/DAO分野においては、群馬県が地方創生を目的としたDAOガイドラインを示したほか、自由民主党の第28代総裁に選出された石破茂氏が「日本創生」を掲げており、DAOによる地方創生もより期待されます。

このような背景のもと、当社は、ソーシャルメディアサービス事業のノウハウを活かし、引き続き成長が期待されるシェアリングエコノミー分野、そしてweb3（ブロックチェーン、DAO・自律分散型組織）に注力し、様々なサービスの開発や起業・事業支援をするとともに、ビジネス領域の更なる拡充と優位性の確保に努めてまいりました。

7月には、出資先であるスキマバイトサービス運営の株式会社タイミーが上場を果たし、8月には、司法書士事務所との連携により「合同会社型DAO設立代行サービス」をリリースし、合同会社型DAOの登記からDAO組成までを一気通貫で提供可能な体制を確立いたしました。

当第3四半期連結累計期間は、インキュベーション事業において投資先である株式会社タイミーの上場に伴う売出しにより、当社の株式持分を売却いたしました。これにより売上高が大幅に増加いたしました。また自治体からのスタートアップ支援関連の受託業務も更に売上を押し上げました。ソーシャルメディアサービス事業においては、SNSマーケティングの市場規模が引き続き拡大しており、顧客企業から大型受注や動画を利用した新たなマーケティングサービスの提供などを推進し、売上高は好調に推移いたしました。利益面においては、営業投資有価証券の売却益により大幅増益となりました。この結果、売上高は2,563,405千円(前年同期比35.1%増)、営業利益は426,242千円(前年同期248千円の利益)、経常利益は446,344千円(前年同期12,811千円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は451,530千円(前年同期比224.5%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ソーシャルメディアサービス事業)

① ソーシャルメディア領域

＜コミュニティパッケージ、企業向けブログ、活性化サービス＞

Facebook、Twitter、LINE@、Instagram、ブログなどソーシャルメディア活用の企画提案やシステム構築・運営、多店舗向けのブログシステムの提供、グループウェア、クラウド型グループウェアを提供

② マーケティング支援領域

＜ソーシャルメディアマーケティング、Webマーケティング＞

ソーシャルメディアやブログなどを活用したマーケティングのコンサル業務、Webサイトの構築・運営

③ その他領域

動画面接スカウトサービスのオンライン就活、ウェルビーイング、コーチング

当第3四半期連結累計期間においては、SNSマーケティングにおいては、大型案件の受注が売上高の増加に貢献いたしましたが、様々な案件に対応すべくインフルエンサー等への外注費も大幅に増加となり、利益を押し下げる結果となりました。受託開発案件については、システム運用保守において大型案件のランニングが安定的に受注でき、売上高増加に貢献いたしました。

この結果、売上高は1,545,283千円(前年同期比9.8%増)、セグメント利益は185,555千円(前年同期比31.3%減)となりました。

（インキュベーション事業）

インキュベーション事業は、グループ外における投資育成支援（グループ外インキュベーション）とグループ内で創設される新規事業（グループ内インキュベーション）で構成されております。

グループ外インキュベーションにおきましては、投資先企業の株式を保有し、事業育成・成長支援などのハンズオン支援を行っております。

グループ内インキュベーションにおきましては、地域体験マッチングサービス「aini」、海外在住の日本人が案内する「LOCOTABI」などを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、出資先である株式会社タイミーが東京証券取引所グロース市場へ上場し、売出人として参加し保有している株式を売却したことにより売上高が大幅に増加しました。また、自治体案件の納品等が完了し、売上高の増加に貢献いたしました。

この結果、売上高は1,021,549千円（前年同期比107.1%増）、セグメント利益は532,221千円（前年同期3,560千円の損失）となりました

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10.7%増加し、2,101,478千円となりました。これは主に現金及び預金が157,783千円、受取手形及び売掛金40,297千円増加したこと、営業投資有価証券が53,602千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて133.0%増加し、255,512千円となりました。これは主にのれんが71,348千円、長期貸付金が75,805千円、ソフトウェアが17,585千円増加したこと、ソフトウェア仮勘定が12,082千円、貸倒引当金が7,032千円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて17.4%増加し、2,356,991千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて24.6%増加し、576,774千円となりました。これは支払手形及び買掛金が32,345千円、1年内返済予定の長期借入金が40,418千円、預り金が17,501千円増加したこと、未払金が16,749千円、未払費用が15,060千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて54.3%増加し、330,300千円となりました。これは主に長期借入金が138,497千円増加したこと、繰延税金負債が22,041千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて34.0%増加し、907,075千円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8.9%増加し、1,449,916千円となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により451,530千円増加したこと、有価証券評価差額金が43,542千円、資本剰余金が配当により280,651千円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年8月9日公表の「2024年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示しております数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	681,838	839,622
受取手形及び売掛金	320,388	360,686
仕掛品	104,311	120,489
営業投資有価証券	746,825	693,223
その他	45,581	87,843
貸倒引当金	△385	△386
流動資産合計	1,898,560	2,101,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,090	8,413
工具、器具及び備品（純額）	13,017	10,275
土地	4,091	4,091
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	26,198	22,779
無形固定資産		
ソフトウェア	317	17,903
ソフトウェア仮勘定	12,082	—
のれん	51,851	123,199
無形固定資産合計	64,251	141,103
投資その他の資産		
投資有価証券	1,600	—
敷金及び保証金	7,546	3,781
長期貸付金	34,138	109,943
その他	23,333	18,278
貸倒引当金	△47,406	△40,373
投資その他の資産合計	19,213	91,630
固定資産合計	109,663	255,512
資産合計	2,008,224	2,356,991

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,481	111,827
1年内返済予定の長期借入金	17,000	57,418
未払金	112,980	96,230
未払費用	109,955	94,894
預り金	52,935	70,437
未払法人税等	50,407	50,124
前受金	22,731	30,420
その他	17,422	65,422
流動負債合計	462,915	576,774
固定負債		
長期借入金	52,650	191,147
繰延税金負債	161,195	139,153
その他	200	—
固定負債合計	214,045	330,300
負債合計	676,960	907,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,882,698	1,602,047
利益剰余金	△1,011,555	△560,024
自己株式	△68,367	△68,367
株主資本合計	902,776	1,073,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	411,906	368,364
その他の包括利益累計額合計	411,906	368,364
新株予約権	16,580	7,897
純資産合計	1,331,263	1,449,916
負債純資産合計	2,008,224	2,356,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,897,456	2,563,405
売上原価	679,015	815,503
売上総利益	1,218,440	1,747,901
販売費及び一般管理費	1,218,192	1,321,659
営業利益	248	426,242
営業外収益		
受取利息	1,379	2,207
助成金収入	1,891	6,916
為替差益	6,872	2,593
貸倒引当金戻入額	2	—
ポイント失効益	—	9,039
その他	3,339	6,146
営業外収益合計	13,485	26,903
営業外費用		
支払利息	922	1,234
チャージバック損失	—	5,567
その他	0	—
営業外費用合計	922	6,802
経常利益	12,811	446,344
特別利益		
新株予約権戻入益	20,637	8,683
事業分離における移転利益	111,571	—
特別利益合計	132,208	8,683
特別損失		
固定資産除却損	—	199
投資有価証券評価損	—	600
特別損失合計	—	799
税金等調整前四半期純利益	145,020	454,227
法人税、住民税及び事業税	5,890	2,883
法人税等合計	5,890	2,883
四半期純利益	139,129	451,344
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△185
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,129	451,530

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	139,129	451,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,949	△43,542
その他の包括利益合計	12,949	△43,542
四半期包括利益	152,078	407,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,078	407,987
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△185

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の減資
2024年2月16日 取締役会	普通株式	25,513	5.00	2023年12月31日	2024年3月14日	その他 資本剰余金
2024年8月9日 取締役会	普通株式	255,137	50.00	2024年6月30日	2024年9月27日	その他 資本剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル メディアサー ビス事業	インキュベ ーション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,407,676	489,779	1,897,456	—	1,897,456
外部顧客への売上高	1,407,676	489,779	1,897,456	—	1,897,456
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,457	3,457	△3,457	—
計	1,407,676	493,236	1,900,913	△3,457	1,897,456
セグメント利益又は損失(△)	269,915	△3,560	266,355	△266,106	248

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△266,106千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期連結会計期間において、スナップマーケット株式会社の全株式を取得し子会社化したことに伴い、「ソーシャルメディアサービス事業」において、のれんが61,001千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル メディアサー ビス事業	インキュー ション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,544,839	1,018,566	2,563,405	—	2,563,405
外部顧客への売上高	1,544,839	1,018,566	2,563,405	—	2,563,405
セグメント間の内部売上高 又は振替高	444	2,983	3,427	△3,427	—
計	1,545,283	1,021,549	2,566,833	△3,427	2,563,405
セグメント利益	185,555	532,221	717,777	△291,534	426,242

(注) 1. セグメント利益の調整額△291,534千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

Micolo株式会社の株式の一部を取得し子会社化したことに伴い、「ソーシャルメディアサービス事業」において、のれんが89,443千円増加しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	7,734千円	7,514千円
のれんの償却額	6,100千円	18,094千円